

…緊急時の学校の対応…

*詳細は学校から配られる
プリントでご確認ください

横浜市内のいすれかで大規模地震
(震度5強以上)が発生した時

☆すべての防災拠点校が開設されます

⇒山田小学校、北山田小学校、東山田小学校

登校前 ⇒ 自宅で待機 (学校からの連絡はありません)

登下校中 ⇒ 学校の近くを歩いている時は、**学校に登校**
自宅の近くを歩いている時は、**自宅に戻る**

登校後 ⇒ 学校に**留め置き**

*当日と翌日は休校

防災教育並びに防災訓練などは、小中4校で足並みをそろえて取り組んでいます。毎年、近隣の幼稚園・保育園を含め同日に避難・引き取り訓練を行っています。

*ただし、自宅に保護者不在の場合や危険な場合は学校または安全な場所に行く

*引き取りカードに登録された人が引き取る
*可能な限りメール、ホームページ等で配信

〈引き取りの際の注意点〉

- まず自宅の安全を確認する
- 避難経路の安全を確認する
- 複数カ所で引き取る場合、基本的に年齢の大きい子から引き取り
小さい子の移動距離が少なくなるようにする

発令時
風水害等の警報

午前6時現在、「神奈川県全域または神奈川県東部または横浜市」に、

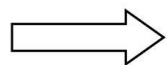
登校前 ☆「**特別警報**」「**暴風雪警報**」「**大雪警報**」「**暴風警報**」「**降灰予報**」が発令 ⇒ 学校は休み (登校させない)

☆ それ以外の警報 (大雨・洪水警報など) が発令 ⇒ 各家庭の判断により十分注意して登校 (安全第一に判断。欠席、遅刻の場合学校に連絡)

登校後 ☆警報が**発令された場合** ⇒ 状況を見て授業や活動を打ち切り速やかに下校
または、校内に留め置きの上、保護者への引き渡し等の措置 (状況に応じて対応)
☆警報が**発令される可能性がある場合** *メール、ホームページ等で配信

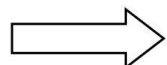


① 気象庁の調査が開始された場合



通常通り

② 地震発生の可能性が平常時より相対的に高まったとされた場合



原則、通常通り

「全市一斉休校」の指示があった場合は休校。指示がなくとも情報の切迫度や地域の危険度により、各学校や中学校区等で登下校見合わせの判断をされる場合がある。



学校からの連絡は受けとれるようになってる？ メールアドレスは変わっていないかな？

* 「南海トラフ地震に関連する情報」の発表は国が南海トラフ地震に係る新たな防災対策を定めるまでの当面の措置であるため、今後変更となる場合があります。

家族のチェック表

小学校・中学校や区役所などの防災、安全の情報をよく読んで、いざ！というとき落ち着いて行動できるよう、家族みんなで確認しておきましょう。

<input type="checkbox"/> 家族の連絡方法	
<input type="checkbox"/> 落ち合う場所	
<input type="checkbox"/> 避難する場所	
<input type="checkbox"/> 非常持出品の確認と置き場所	

いざ！というとき、人のつながりが力を発揮します。

日頃からご近所の人とあいさつを交わしたり、地域の活動に参加したり、防災訓練に参加しましょう。

